

■ 目的 ICT活用工事や建設DXに関する基礎的な学びを通じて、発注及び監督業務に必要な知識を習得する

1 開催日 令和7年6月30日（月）

2 場所 ワークショップ24 4階 研修室 （大垣市今宿6-52-18）

3 参加者 31名

4 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
9:30～	(受付)	
9:55～	ガイダンス	
10:00～ 10:40	建設ICTの取り組み	岐阜県県土整備部 技術検査課 建設技術係 技師 高木 規充 氏
休憩 10分		
10:50～ 12:00	建設ICTの概要 ・ICT活用工事の流れとポイント ・3次元データの活用事例 ・BIM/CIMとは	[中部地方整備局 ICTアドバイザー] 福井コンピュータ株式会社 岐阜オフィス 宇野 真介 氏
昼休み		
13:00～ (途中休憩) 14:15	発注者における3次元データの活用 ・点群処理ソフトの活用について 【演習】システム操作	
休憩 15分		
14:30～ 15:30	工事情報共有システムについて 【演習】システム操作	株式会社 建設総合サービス
休憩 10分		
15:40～ 16:00	インフラ管理におけるアプリ活用について ・スマートパトロールシステム ・スマート施設点検システム	(公財)岐阜県建設研究センター
16:00	アンケート記入、閉講	

5 主催 建設ICT人材育成センター ((公財)岐阜県建設研究センター内)

6 研修状況



講義の様子



演習の様子

7 受講者の感想

- ・ICTの導入に対しての効果検証結果よりメリット・デメリットがわかりやすかった
- ・ICTの操作の手順について知ることができた。3DのCADデータを使って実際に体験出来てよかった
- ・実際に操作することでシステムの使用方法が身についた
- ・スマバトについて今まで触れたことがなかったので学べてよかった

以上